２８．１０．２５

別紙1

三重県市町総合事務組合  
情報推進課　杉谷・伊藤・池村　様

桑名市防災・危機管理課

防災対策指導員　藤井一隆

平成２８年度地理空間情報集約システム運用結果について

１　全般

　　本システムを平成２８年９月２０日（火）１７：００～２４：００の間、

　台風１６号の対応において、通行止め、床下浸水、土砂崩れ等の状況把握、

対応状況の把握及び情報共有に使用しました。

　しかしながら、災害対策本部の状況報告では、入力、情報の確認作業等の

ためタイムリーかつ効果的な運用には至らなかったと思います。

２　被害状況の入力

　　現在、被害状況の入力を災害対策本部事務局で行っているところ、人事異

動、システム使用の慣熟、役割分担等の運用上の課題から活用の度合いは不

十分であったと考えます。

３　情報の使用

　　被害状況をスクリーンに提示し、時間、位置、被害の種類、程度等の正確

な情報共有を図ることができました。

　　被害状況を今後、関係各部、消防等の部署から入力し報告を行うよう運用

範囲の拡大を提言したところです。（今後の操作教育を検討）

４　情報の蓄積

　　本システムに整理された情報を登録し、今後の被害予測、対応の優先順位

決定に反映するため、引き続きデータを蓄積したいと思います。

５　システム使用上の気づき

　・被害情報登録は必要な項目を網羅している。

　・被害発生場所の図形登録から桑名市、大字等の地名（地点）を特定ができ

ないか。

　・被害情報の図形登録を行った後、新たな情報の入手に伴い登録図形の修正

を行うことはできないか。

　・東員町と桑名市の入力作業が行われた際、被害情報が各市町の区分にかか

わらず入力順に表示され、一連の表示から必要とする情報の選択に時間を

要したため、表示方法の選択肢を工夫できないか。

　・登録被害状況の削除時、図形情報を被害情報入力欄と同時に削除できない

か。

以上、操作に未習熟なところもありご教示願いたいと思います。